

3

むかしむかし、あるところに、^{たろう}太郎、^{じろう}次郎、^{さぶろう}三郎とい
う、^{さんにん}三人の^{きょうだい}兄弟が暮らしていました。

ある日、^ひ長男の^{ちょうなん}太郎が、^{となりむら}隣村に^か買い物に^{もの}出かけまし
た。

^か買い物を^{もの}終えた^お太郎が、^{たろう}帰りの^{かえ}山道に^{やまみち}差し掛^さかった^か時^{とき}で
す。

「ん、なんだ・・なんだか、^{けはい}きみ^{かん}ような^{けはい}気配^{かん}を感じる
な・・」

^{あた}辺りは、もう^{くら}すっかり暗くなっていました。

^{じつ}実はこの^{やまみち}山道には、^ばおそろしい^{もの}化け物^でが出るというウワ
^{ばな}サ話^{ばな}しがあったのです。



5

とつぜん たろう うし ぶ き み こ え き
突然、太郎のすぐ後ろから、不気味な声が聞こえてきま
した。

『おぶさりてえ・・・おぶさりてえ・・・』

ぶ か え た ろ う ひ め い あ
ゆっくりと振り返った太郎は、おどろいて悲鳴を上げて
しまいました。

ひ と お な お お
なんとそこには、人と同じほどの大きさの、ぼんやりと
ひ か た ま
光るなぞの玉が、ふわふわと浮かんでいたのです。

『おぶさりてえ・・・おぶさりてえ・・・』

「ぎゃー！で、でたー！！」

た ろ う ひ ッ し は し じ ぶ ん い え に か え
太郎は必死に走って、自分の家まで逃げ帰りました。



2 1

A long time ago, there lived three brothers; Taro, Jiro and Saburo.

One day, the oldest brother Taro went shopping to the neighboring town.

It was when Taro had finished shopping and came to the street in the mountain on his way home.

“Hm? What is this, I can feel something around here…”

It was very dark already.

There was a rumor that a terrifying monster appeared in the streets where he was walking along.



23

Suddenly, Taro heard a spooky voice from behind,

“I want to get on your back… I want to get on your back…”

Taro slowly turned around and screamed in fear.

There was a sphere, that was about the same size as a human, glowing and floating right behind him.

“I want to get on your back… I want to get on your back…”

“Eeeek! It’s a monster!”

Taro desperately ran away and went home.

